

## ～「大切な漢方」プロモーションをスタート～

クラシエが守り続けている製品づくりの想いを伝えるために

クラシエ製薬株式会社  
クラシエ薬品株式会社

当社は、1966年から漢方薬事業を手がけ、1976年には漢方研究所を創設、今日まで生薬研究はもとより、漢方原料の確保から商品の製造・販売まで一貫した管理体制のもとで、「品質と安全」に焦点を当てた漢方薬事業を展開してまいりました。特に、1988年に設立した中国の漢方エキス工場を拠点に、漢方研究所との連携により、生薬の生産履歴管理への取り組みや厳しい残留農薬検査を行っております。

近年、消費者の安全や環境に対する意識が高まる中、残留農薬などの身体に及ぼす影響への懸念から、メーカーに安全性や信頼性を求める声がますます強くなっています。

当社は、漢方薬のリーディングカンパニーとして、これらの声を真摯に受けとめ、より一層の品質と安全性の向上の取り組みを強化してまいります。これらの当社の取り組みの象徴として、そして、その決意の証しとして、この度「大切な人に。大切に作った漢方です。」というメッセージを描いたシンボルマークを制定いたしました。このシンボルマークのもと、もっと安心して、もっと愛され、もっと信頼される漢方薬を提供するメーカーとして努力を続けてまいります。その活動の一環として、今回、「大切な漢方」と銘打ったプロモーションを開始いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

### 「大切な漢方」プロモーション概要

#### ・シンボルマークのコンセプトについて

当社が掲げる「もっと健やかで豊かな暮らしへ」を実現するために、自分の大切な人に安心して使ってもらえる製品を作っていきたい。『大切な人に。大切に作った漢方です。』というメッセージにはそんな想いが込められています。クラシエカラーの黄色を基調として、“家族”をモチーフにした4人が手をつないでいるイラストを盛り込んだ温かみのあるデザインとしています。



#### ・プロモーション内容について

- ①当社社員全員にシンボルマークバッジの配布
- ②店頭における販促物の展開（ブランドパンフレット、オリジナルPOP、オリジナルシール等）
- ③当社主力ブランド「カンポウ専科」「ココアポ」「漢方セラピー」の広告宣伝、販促キャンペーンにおけるシンボルマークの使用
- ④8月1日から当該プロモーションを当社ホームページにて告知
- ⑤ホームページで漢方に関するアンケート、健康食品「しょうが湯」のプレゼント企画を実施

◇ ご参考—「品質と安全性に対する取り組み」

## 1. 原料生薬を厳選

- ①中国全土より産地を指定し、採集時期を定めて集荷しています。また、一部の生薬では、『日本薬局方』基準に加え独自の規格を設定し、品質確保に努める一方、品質維持のため保存方法にも細心の注意を払っています。
- ②日本国内及び中国に複数の試験栽培地を設置し、植物の特性に合わせた栽培研究の環境を確保しています。
- ③各産地における生産状況の把握に努め、トレーサビリティの確立を図るとともに、品質向上、安定化に向けた取り組みを進めています。

## 2. 漢方エキス製剤の生産技術

- ①常に同品質の製品を供給するため、抽出・濃縮・乾燥工程の温度・時間など、長年のノウハウに基づいたコンピューター管理を行っています。
- ②漢方薬独特の苦味や臭いを抑え、飲みやすい錠剤の小型化や服用回数を減らした製剤など服用性の向上を図る工夫を行っています。
- ③エキス粉末を製造する高槻第二工場、最終製品化する高岡工場の国内2ヶ工場は共にISO14001認証を取得し、環境に対しても配慮しています。

## 3. 生薬・漢方エキス製剤の品質管理

- ①漢方薬は複数の生薬により構成され、それらの含有成分の複合作用または相乗作用として効果が現れるため、生薬成分の含有量を把握することに注力しています。
- ②様々な成分が常に一定の範囲内で含まれていることが、高品質の製品を提供する上で非常に重要であり、当社では、種々の分析機器を用いて各生薬成分の分析を実施しています。

## 4. 残留農薬への取り組み

- ①原料生薬の受入れ時から中間原料のエキス粉末並びに最終製品に至る工程で残留農薬検査を行い、安全性に問題がないことを確認した上で、製品を出荷しています。
- ②生薬中の残留農薬基準は日本薬局方に定められている基準や、日本漢方生薬製剤協会における農薬種について設定されている自主基準に加え、当社はすべての生薬及び製品に対し残留農薬検査を実施し、安全性の確保に努めています。

<お問い合わせ先>

クラシエホールディングス株式会社 総務・広報部 03-5446-3042

暮らしへ、Kracie